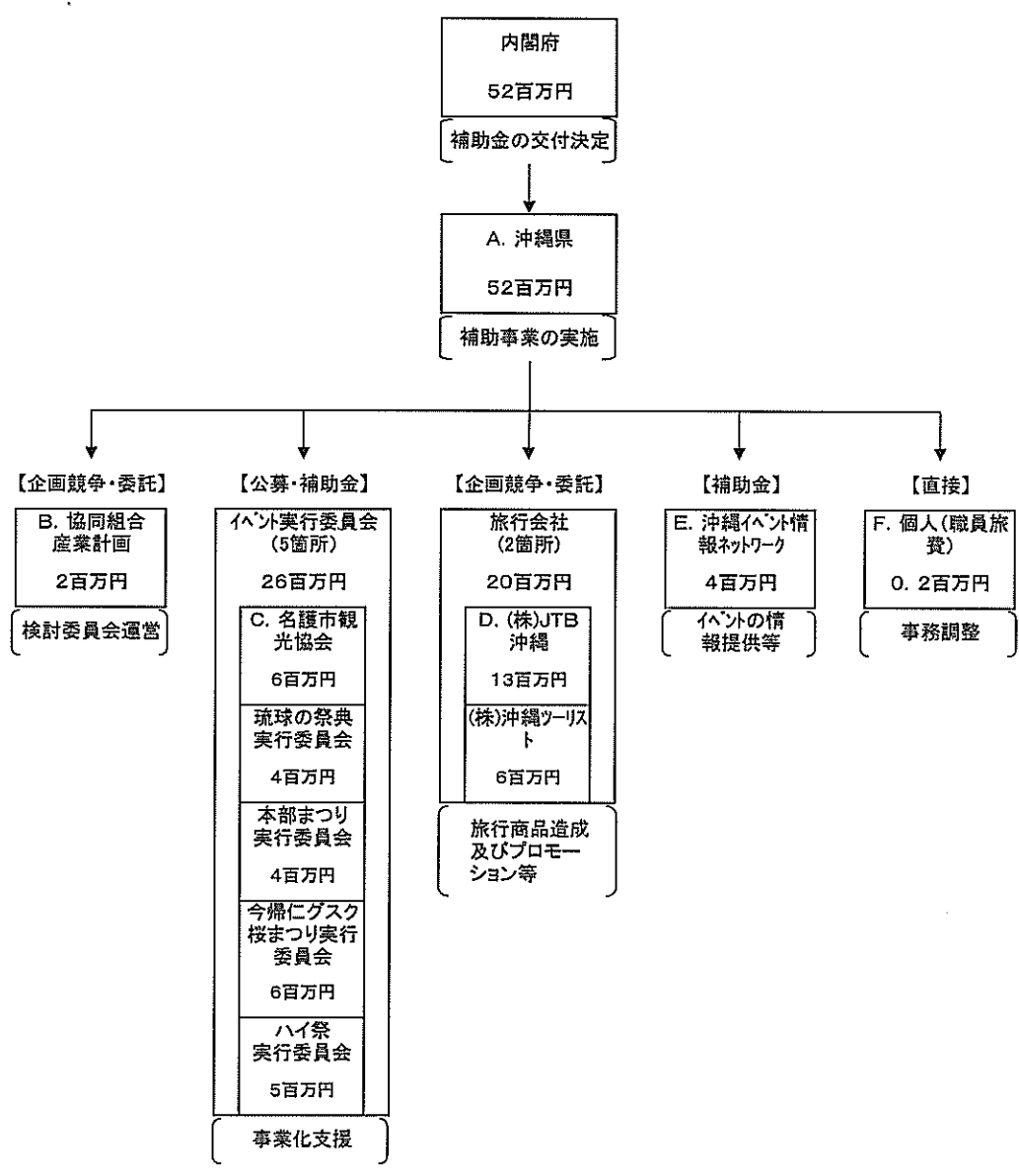


行政事業レビューシート (内閣府)

予算事業名	文化資源活用型観光戦略モデル構築事業	事業開始年度	平成21年度	作成責任者		
担当部局庁	政策統括官(沖縄政策担当)	担当課室	参事官(企画担当)	企画官 柴崎 哲也		
会計区分	一般会計	上位政策	沖縄政策の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	沖縄振興特別措置法	関係する計画、通知等	沖縄振興計画(平成14年7月内閣総理大臣決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>沖縄は、特色ある伝統行事や伝統芸能などの文化資源を有しているが、それらの資源が観光資源として活用されず埋もれたままとなっているものも少なくない。</p> <p>そこで文化資源を活用した観光資源を発掘・事業化支援するとともに、文化資源を活用したイベント連携等により、開催時期の平準化等の検討を行い、観光ボトム期の底上げや平均滞在日数の増加による観光客誘客の拡大を図る。</p>					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>①文化資源活用型モデル検討委員会を設置し、沖縄県内の有望な文化資源の課題を整理し、旅行商品化の可能性を検討。</p> <p>②提案公募による地域主体の文化資源活用型観光の事業化を支援。(イベント、プロモーション等)</p> <p>③リアルタイム情報提供システム開発</p> <p>事業主体:沖縄県、補助率:2/3</p>					
実施状況	<p>①文化資源活用型観光戦略モデル検討委員会を3回開催し、支援対象案件毎のプロモーション等内容や支援対象イベントの開催時期平準化等内容の検討、実施効果の検証・検証結果のフィードバックを実施。</p> <p>②提案公募による地域主体の文化資源活用型観光イベントの事業化を5件支援(うち1件は台風の影響により直前に中止)。また、選定された企画提案の旅行商品化を促すため、旅行代理店に委託し、効果的プロモーションを実施(採択イベント一覧一別紙参照。プロモーション委託2件)。</p> <p>③沖縄県における文化資源を活用したイベント情報(オキナワンロック、祭り、民謡等のイベント)を340件以上データベース化し、インターネットを活用して容易に情報収集や他のサイトに情報提供を行うことが可能なシステム開発するとともに、リアルタイム情報の提供を、現在、2つの観光情報サイトでやっている(沖縄観光コンベンションビューロー、URUMAX)。</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	—	—	58	99	—
	執行額	—	—	52		
	執行率	—	—	90%		
総事業費(執行ベース)	—	—	77			
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<p>担当者が本年の1月と3月に現地に赴いて沖縄県からヒアリングを行ったり、検討委員会での議論を聴取するなどして、事業の進捗状況の確認を行った。また、補助金の額の確定時においては、支出等に関する書類により適正性を確認した。</p>				
	見直しの余地	<p>事業目的の効果的な達成に向け、地域提案のイベント支援に加え、埋もれている文化資源を活用し、観光政策と融合させることで、沖縄の新たな魅力として創造し、ひいては、プラスワン(観光客が沖縄県内でもう1泊)に寄与するための戦略構築が必要。</p> <p>なお、上記検討委員会から、支援対象の各イベントの改善点(パンフレット記載の案内図を分かり易くすべき、地元の人参加し楽しめる交流イベントを増やすべき、駐車場やトイレ不足を解消すべき等)の指摘を受けており、次回開催のイベントに反映されるよう、沖縄県において各主催者に助言し、フォローしているところ。</p>				
予算監視の所見	<p>【公開プロセス結果】</p> <p>大幅な改善を要し、一部事業の廃止を検討する</p> <p>○グランドデザインたる沖縄振興計画や観光計画との関連性、具体の目標設定の妥当性が低い</p> <p>○個別の事業の成果や費用対効果の説明が不十分。特に、セミナー、トップスクール、文化資源は廃止も含め見直しが必要</p>					
補記						

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 しているかについて補足する)
 (単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. 沖縄県			E. 沖縄イベント情報ネットワーク		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	文化資源活用観光戦略モデル構築事業検討委員会運営委託費	2	人件費	研究員	1
補助金	事業化支援補助金(5件)	26	委託費	システム開発、サーバー設置・保守	3
委託費	プロモーション委託費(2件)	20			
補助金	リアルタイム情報提供システム開発費補助金	4			
計		52	計		4
B. 協同組合沖縄産業計画					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究員	1			
その他	検討委員会開催経費(謝金、旅費等)、報告所作成(印刷製本)	1			
計		2	計		
C. 名護市観光協会					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	イベント実施経費	6			
その他	実行委員会経費(報告書作成、印刷製本)	0.2			
計		6	計		
D. (株)JTB沖縄					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費等	企画立案・運営・調査	6			
企画支援経費	旅行商品の企画、パンフレット制作、商品の広告	6			
その他	一般管理費等	2			
計		13	計		

「平成21年度 文化資源活用型観光戦略モデル構築事業」事業化支援補助金 交付先一覧

No	団体名	事業内容	来場者数		前回 来場者数
			全体	うち県外客	
1	琉球の祭典実行委員会 (那覇市)	<p>※【有料特設観覧型観光客誘客拡大イベント”ワールドモデル”事業】 有料特設観覧3,000席を設置、販売することで安定した収益を確保する。 また、有料特設観覧の設置に伴い、旅行商品化に耐える魅力向上のため、自主事業として参加型琉装パレードや音楽祭・アートイベントライブを行う。 ○新規事業に係る委員会開催1回 ○イベント開催日数:2日間</p>	※台風21号の接近によりイベントは中止となったが、旅行会社により旅行商品は造成され催行された。 (県外観光客約1000名がツアー参加)	全体:15,000名 県外:2,000名	
2	名護桜祭り実行委員会 (名護市)	<p>※【全国ご当地B級グルメフェスタ】 名護市、沖縄県、全国のご当地グルメと、名護の桜を兼ねるフードイベント。 ※【沖縄三大桜祭りWEEK】 本部町、今帰仁村の桜祭りと会期を合わせ、共同の広告・プロモーションを実施。相乗効果による誘客拡大。 ○新規事業に係る委員会の開催3回 ○本部町、今帰仁村の桜祭りと会期を合わせ、共同の調整会議の開催3回 ○イベント開催日数7日間</p>	約42,000名 ※アンケート属性から推計(17%)	全体:200,000名 県外:20,000名	
3	本部まつり実行委員会 (本部町)	<p>※【さくら並木道の車両通行止めによる歩行者優先散策道の構築】 さくら並木道に文化体験や伝統芸能を鑑賞できる遊歩道を設定。 ※【沖縄三大桜祭りWEEK】 名護市、今帰仁村の桜祭りと会期を合わせ、共同の広告・プロモーションを実施。相乗効果による誘客拡大。 ○新規事業に係る委員会の開催2回 ○名護市、今帰仁村の桜祭りと会期を合わせ、共同の調整会議の開催3回 ○イベント開催日数8日間</p>	約57,000名 ※アンケート属性から推計(23%)	229,948名	
4	今帰仁村グスク桜まつり実行委員会 (今帰仁村)	<p>※【今泊地区から今帰仁城跡間の”室探しウォークラリー実施】 ゲーム性と今帰仁の歴史文化観光の提唱、併せて参加料徴収や出店による収益性の確保。 ※【沖縄三大桜祭りWEEK】 名護市、本部町の桜祭りと会期を合わせ、共同の広告・プロモーションを実施。相乗効果による誘客拡大。 ○新規事業に係る委員会の開催2回 ○名護市、本部町の桜祭りと会期を合わせ、共同の調整会議の開催3回 ○イベント開催日数8日間</p>	約24,000名 ※アンケート属性から推計(58%)	44,241名	
5	ハイ祭実行委員会 (南城市)	<p>※【全国の地方大会の優勝チーム等の招聘、交流による満足度向上】 全国規模のストリートダンス大会として、知名度とクオリティの向上を図るため、全国各地で開催されるダンス大会とタイアップ、優勝チームを招聘。 ※【大会記録の充実等】: 周年で大会の周知を図るため、大会HPの充実及びDVDの作成配布等。 ※【有償入場エリアの設置】: 収益性を確保するため有償入場エリアを設置。 ○新規事業に係る委員会の開催1回 ○イベント開催日数2日間</p>	約25,000人	全体:12,000名 県外:1,62名	